

学校教育目標

志を持ち夢の実現に挑戦する、自立する人づくり

赤穂中学校の誇りを胸に、感謝の心と、思いやりのあふれる学校をめざして

めざす生徒像〔校訓〕

- 明 け く 〔公明正大で、切磋琢磨して学習に真剣に取り組む生徒〕
- 浄 く 〔心や行いがきれいで、正しい行動ができる生徒〕
- 直 く 〔素直で誠実な生徒〕

めざす教師像

- I 人権感覚を磨き、感性を高め、生徒一人ひとりを大切にする教職員
- II わかる授業と学力向上への工夫と改善に努める教職員
- III 生徒の気持ちに寄り添い、成長や発達を支える教職員
- IV 生徒の良きや可能性を伸ばし、自己指導能力を育てる教職員
- V 自分を磨き、高め、深め、教育のプロとして自己変革ができる教職員
- VI PDCAサイクルによる全教育活動の検証・評価と勤務時間の適正化を推進する教職員

学校経営の基本方針

- 1 人権に関する知的理解と人権感覚の涵養を基盤に、自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができる生徒を育成し、すべての生徒が安心して学習や集団活動ができる学校環境〔人・物・心〕をつくる。
- 2 「確かな学力」の育成を図るため「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた工夫と改善に努め、授業公開や研究協議などにより、教育活動の質の向上をめざす。また、学力の把握に基づいて、つまずきの解消や系統性を重視した指導を進める。
- 3 特別支援教育の充実を図り、全ての生徒が認め合い、生き生きと学べる環境をつくる。個別の教育支援計画・個別の指導計画の有効活用により、切れ目のない一貫した支援に努める。
- 4 個性を認め合い、支え合う共感的な人間関係のある学級づくりを推進する中で、主体的に考え、判断し、行動する生徒の育成を図る。
- 5 生徒会活動を中心とする自主的活動や仲間づくりへの適切な支援により、感謝の心や思いやりの心を育み、支え合い高め合う集団を目指す。
- 6 様々な視点から生徒理解を深め、心に寄り添った支援を通して、生徒に自己指導能力を身につけさせる。また、課題のある生徒に対しては教職員のチームワーク、保護者や関係機関との協働・連携によって生徒の発達を支え、課題予防に努める。
- 7 福祉活動やJRC活動、地域行事への参加など、地域に貢献し、活躍する生徒の育成を目指す。また、学校情報の発信、地域団体との連携、オープンスクールの拡充、地域人材の活用など、地域に根ざした教育活動を推進する。
- 8 報告、連絡、相談を徹底することで課題に対して迅速かつ適切に対応する学校組織の確立を目指す。